

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
伊万里市	東山代地区(脇野集落)	令和4年3月31日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	57ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	57ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕地面積の合計	12ha
i うち後継者未定の農業者の耕地面積の合計	8ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において、今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考) 当地区は、山間部の急傾斜地と連坦した緩傾斜地の団地を有しており、急傾斜地では、主に水稻の作付けを行い、緩傾斜地では、地区内外の担い手により水稻をはじめ、胡瓜やイチゴなどの園芸作物に取り組んでいる。	

2 対象地区の課題

緩傾斜の団地については、比較的耕作条件が良いため、地区内外の担い手等により耕作が続けられると考えているが、急傾斜地については、近年、農業者の高齢化や後継者不足に加え、イノシシによる農作物・農地被害が顕著であり、耕作放棄地が増加している。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区内の担い手及び地区内外から新たな担い手を確保し耕作を継続していく。 今後、担い手が不足する場合は、中心経営体ではないが地区内外の規模拡大志向農業者に農地集積を進め、地域全体における営農継続を図っていく。

■集落における中心経営体

属性	農業者	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
	中心経営体数 6	水稻、大豆、胡瓜 パプリカ他	4.6ha	水稻、大豆、胡瓜 パプリカ他	4.6ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

【中山間地域等直接支払交付金等の活用方針】

当該交付金等を積極的に活用し、農地・水路・農道などの維持管理を図る。

【農道・水路の計画的な整備】

水路の老朽化に伴う補修や農道の整備が必要な箇所があるため、上記交付金等を活用しながら計画的に実施していく。